

令和6年11月15日
物 価 統 計 室

2025 年基準 モデル式の検討「資格試験」

1 資格試験のモデル品目化

資格試験については、近年、語学試験が大きなシェアを占め、試験の種類では、英語に関する試験が大きなシェアを占めている。また、その価格は、受験級、試験方式及び試験会場により異なる。このため、2025 年基準では、英語に関する試験において、代表的なケースを選定し、モデル式を採用することとする。

2 調査価格についての検討

(1) 調査対象の選定

英語に関する試験は試験の種類ごとに試験方式に違いがあるが、「用途」は語学力の証明であること、「内容や価格」も類似していること、「期待される価格変動」も人件費及び会場費がメインという点では類似したものとも考えられる。よって、英語に関する試験のうち、シェア上位の複数の試験を対象とする。

(2) 採用する価格の選定

試験ごとに、受験者が多いと考えられる受験級、試験方式及び試験会場を複数選定する。

3 モデル式について

- ① 複数の受験級を調査する試験については、受験級数(n)で単純平均し、試験の種類(a)別の平均価格を算出する。

$$P_{t,a} = \frac{\sum_b P_{t,a,b}}{n}$$

t : 比較時、0 : 基準時
 a : 試験の種類
 b : 受験級

- ② 基準時価格で除して、試験の種類別の指数を算出する。

$$I_{t,a} = \frac{P_{t,a}}{P_{0,a}} \times 100$$

- ③ 試験の種類別の受験者数(w)を用いて加重平均し、品目別価格指数を算出する。

$$I_t = \frac{\sum_a I_{t,a} w_{0,a}}{\sum_a w_{0,a}}$$